

第3学年 道徳科学習指導案

日時 令和5年11月14日(火) 公開授業Ⅱ
児童 男子14名 女子12名 計26名
指導者 熊谷 優奈

1 主題名 「いやだと言えるように」 A(1) 善悪の判断、自律、自由と責任

2 ねらい・教材

(1) ねらい

正しいと判断することの大切さを考え、自信をもって行動しようとする態度を養う。

(2) 教材名 「言い出せなくて」 (「みんなの道徳 3年」 学研)

3 評価の視点

①正しいと判断することの大切さについて、多角的・多面的に考えを深めている。

②正しいことを自信をもって行動しようとすることについて、これまでを振り返り、自分との関わりで考えている。

4 主題設定の理由

(1) 指導内容について

小学校3学年及び4学年の[A 善悪の判断、自律、自由と責任]の内容項目は、「正しいと判断したことは、自信をもって行うこと。」である。物事の善悪についての確かな判断し、自ら正しいと信じるところに従って主体的に行動すること、自由を大切にすると共に、それに伴う自律性や責任を自覚することに関するものである。

人は誰しも、正しいこと・正しくないことの判断はできて、時として正しいと知りつつも実行できなかったり、周囲に流されたりすることがある。正しくないことは正しくない、また、正しいことは正しいと勇気をもって言うことは、生きていく上で理想的な行為であり、当たり前なことでもあることを認識させる必要がある。集団生活の中でその判断があいまいになってしまいかちな中学年段階で、正しいと判断したことは自信をもって行おうとする態度を養ってきたい。

(2) 児童観

本学年の児童は素直で明るく、普段から男女問わず仲よく遊び、楽しく過ごしている様子が見られる。しかし、些細なことで友達とトラブルになることも多い。そのトラブルの原因の多くは、相手の気持ちをよく考えずに軽い気持ちで発した言葉であったり、自分が嫌だと思ったことに対して、その場ですぐに自分の気持ちを伝えられなかったりすることなどである。「相手のことを思いやることが大切だ。」「相手に嫌な思いをさせてはいけません。」「と分かってはいるながらも、周囲に流されたり自分の弱さに負けてしまったり、周りの状況や友達との関係を気にして、自分の気持ちをすぐに伝えることができなかったりする児童も多い。

本教材を通して自分が正しいと判断したことは自信をもって行い、正しくないとは行わないような態度を育て、自分の判断に従って、主体的に行動する態度を育みたい。

(3) 教材について

本教材は、友達から「おかず」と呼ばれることが嫌な主人公の気持ちや、それを乗り越えて自分の気持ちを言った理由を考えることを通して、ねらいに迫るものである。

児童の日常生活の中でも本教材のような場面が起こる可能性が高い。軽い気持ちで相手に嫌な思いをさせてしまった二人の友達、嫌だという気持ちを抱えながらも言い出せず葛藤する主人公の姿は、これまでの児童の経験と重なる点も多いと考えられる。葛藤し

ながらも嫌なことは嫌だと言い出すことができた主人公の気持ちを考えることを通して、自分が正しいと判断することの大切さを考え、自信をもって行動することについて、考えを深めることのできる教材である。

5 研究主題との関わり

NIEの視点 ③ 多様な見方・考え方をすることができる。

道徳の学習では、教材中の状況について考える際、児童は正しいと判断したことを自分の言葉で自信をもって話すことができる。しかし、実際と同じような状況に児童が直面したとき、道徳の学習で判断した正しいことをできるとは限らない。これは大人でも同様であり、正しいとわかっていなくても行動するには勇気が必要なことは多い。

本時では学習を深めるために、教材文とは少し場面を変え、いじめに関する体験談が書かれた記事を扱う。実際に起こった出来事について、自分だったらどうするか考えることを通して、自らの経験と結びつけながら考えを深めさせたい。

6 指導と評価の計画

教材名	ねらい	評価の視点
8 あと、ひと言	相手に関係なく、自分の正しいと思ったことは自信をもって行おうとする態度を養う。 NIE視点 ③	①正しいと思ったことを、誘惑や心の弱さに負けずに行うことについて、多面的・多角的に考えている。 ②正しいと思ったことを、誘惑や心の弱さに負けずに行うことの大切さについて、自己を振り返り、考えを深めている。
16 心にひびくかねの音	間違っていると感じる物事を見過さず、よいと思うことを進んで行うための判断力を育てる。 NIE視点 ③	①正しいと思ったことを、自信をもって行うことのすがすがしさについて多面的・多角的に考えている。 ②間違っていることを、はっきり「間違っている。」ということの意義を考え、自分の生活を振り返り、発展的に考えている。
30 言い出せなくて	正しいと判断することの大切さを考え、自信をもって行動しようとする態度を養う。 NIE視点 ③	①正しいと判断することの大切さについて、多角的・多面的に考えを深めている。 ②正しいことを自信をもって行動しようとすることについて、これまでを振り返り、自分との関わりで考えている。

7 本時の指導

(1) ねらい 正しいと判断することの大切さを考え、自信をもって行動しようとする態度を養う。

(2) 展開

段階	主な学習活動	主な発問と指示 予想される児童の反応	○指導上の留意点 ◇評価（評価の視点）
導入 5分	1 日常の場面を想起する。 2 学習課題を設定する。 気持ちよく生活するために、大切なことはなんだろう。	○何かをされて自分が嫌なとき「嫌だ」と言えていますか。	○自分の生活を振り返りながら、日常にありがちな課題にかかわる教材への方向付けを図る。

<p>展開 30分</p>	<p>3 「言い出せなくて」を読んで考え、話し合う。</p> <p>4 新聞記事を読んで考える。</p>	<p>○かずやはなぜ、なかまが言い出せなかったのでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・嫌だという、仲が悪くなりそう。 ・やめてと言ったら、もっと言われそう。 <p>○最後にかずやが『おかず』とよぶのをやめて。」ということができたのは、なぜでしょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本気で話せば分かってくれると思ったから。 ・毎日、暗い気持ちで過ごすのは苦しいから。 ・本人がうれしくないあだ名で呼ぶのはおかしいと思ったから。 <p>○あなただったらどうしますか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・嫌だと思ったことは嫌だと言う。 ・怖くて言い出せないかもしれない。 ・言い出さないままだとずっともやもやしてしまう。 	<p>○不安や悩み、葛藤する気持ちを想像させ、心が重たくなっている様子や思いを捉えさせる。</p> <p>◇正しいと判断することの大切さについて、多角的・多面的に考えを深めている。 (ワークシート・発言)</p>
<p>終末 10分</p>	<p>5 本時の学習を振り返る。</p>	<p>○今日の学習を振り返りましょう。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>【 期待する児童の振り返り 】 勇気が出なくて言い出せないこともあったけど、自分やみんなのために自信をもって嫌なことは嫌だと言ったり、相談したりしていきたい。</p> </div>	<p>◇正しいことを自信をもって行動しようとするということについて、これまでを振り返り、自分との関わりで考えている。 (ワークシート・発言)</p>

(3) 板書計画

